ユーザーズマニュアル
ver. 1.2 JP

COWON A3

COWON製品をご購入頂きましして誠にありがとうございます。
何時もお客様にdigital　prideを提供できますように最善を尽くします。
本マニュアルには、製品使用の案内及び使用時の注意事項が書かれております。
マニュアルをご覧になりましたら、より楽しいデジタルライフが享受できます。

一般

• COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
• 本マニュアルのすべての著作権は㈱コウォンシステムが持っており、本マニュアルの一部または全部の無断配布は禁じます。
• ㈱コウォンシステムは、音盤／ビデオ／ゲーム関連の法令を遵守します。ユーザ様は性文化に関連する法令を遵守するようお願いします。
• 製品を購入し、http://www.COWONJAPAN.com で会員登録をしましたら様々な専用サービスが受けられます。
• 本マニュアルに記載された各種例題及び図表、写真、製品の機能及び規格は性能改善のため予告なく変更されることがあります。• (株)コウォンシステムは音源／ビデオ／ゲーム関連の法令を遵守します。それ以外の一切の成文化された関係法令の遵守は実際使用するユーザの責任です。

BBE関連

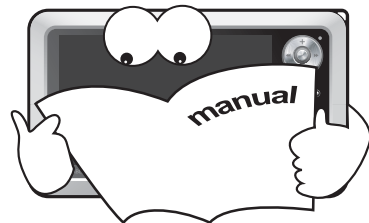
• BBE Sound, Inc. のライセンスにより生産されます。
• USP4638258、5510752および5736897によりBBE Sound, Inc. がライセンス権を保有しています。
• BBEとBBEシンボルはBBE Sound, Inc.の登録商標です。

ホームページの紹介

• 製品関連ホームページは、http://www.COWONJAPAN.com です。
• ホームページでは当社製品の最新情報や最新の技術を適用したファームウェア、プログラムなどをダウンロードできます。
• 初めて使用するお客様のために別途のFAQと初心者ガイドを提供しています。
• ホームページで会員として加入した後、パッケージの一連番号と製品上のシリアル番号を使用して製品登録を行うと正会員となります。
• 正会員になると、1対1のお問い合わせによるオンラインアフターサービスが受けられ、様々な最新情報やキャンペーンのお知らせも電子メールで受けられます。
• 一連番号は紛失しても再発行しません。必ず製品登録を行ってください。

COWON A3

1. 使用する前に

製品使用時の注意事項
製品の正しい使用や使用者の安全のための注意事項ですので、必ずお読みください。
注意事項の違反による全ての事故に関して、賠償の責任を負いません。

- 本製品は個人的な用途でのみ使用してください。本マニュアルに記載されている目的以外には本製品を使用しないでください。
- 製品のパッケージ、マニュアル、付属品を扱う際には手を切らないように注意してください。
- 安全のために運転中には映画、写真またはテキストを見ないでください。また、他の機能を使用する場合においてもご注意ください。
- 安全のため運転（自転車、自動車、バイク等）中や運動、歩行中にはイヤホンを使用しないでください。安全事故の原因となる可能性があり、地域によっては法律で禁じられています。
- 本製品の表面にソルベント類の強力洗剤や化学溶剤が付着すると変色のおそれがありますので、汚れは柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 酷寒や酷暑の時期に製品を使用すると誤動作誤動作のおそれがあります。製品を安定的に使用できる勧奨温度は0℃ ~ 40℃です。
- 製品を水に入れたり、湿気の多いところに長時間保管しないでください。浸水による故障は保証対象外となります。
- 製品を分解または改造する場合は保証対象外となります。
- ケーブルを本製品に差し込む際には向きに注意してください。ケーブルを差し込み間違えると、破損のおそれがあります。また、接続ケーブルを無理に曲げたり、重い物に押された状態で使用することは控えてください。
- 利用中、製品から焦げるにおいがしたり、熱を発する場合はリセットボタンを押して製品の動作を止めた後、コウォンホームページ（www.cowonjapa.com）に問い合わせください。
- ぬれた手で本製品を使用すると誤動作のおそれがあります。ぬれた手で電源プラグを持たないようにしてください。※感電の原因となります。
- 大音量で長時間聴くと、聴力に問題が発生するおそれがあります。
- 大音量で長時間聞くと、聴力に問題が発するおそれがあります。85dB以上の大きい音に長時間露出された場合、聴力に深刻な損傷を招くことがあります。
- 暗い場所で液晶画面を長時間見ると、目の疲労度が増加することがありますので、視力保護のため明るいところで使用することをお勧めします。
- 静電気の発生がひどいところで本製品を使用すると誤動作のおそれがあります。
- 本製品を携帯用のUSB保存媒体として活用する場合、万一のことに備え重要なデータは必ずバックアップすることをお勧めします。データ損失に対して製造者は責任を負いません。
- 製品の修理を依頼する場合、事前に製品に保存されている資料をバックアップしてください。修理中にデータが削除される場合があり、サポートセンターではデータ損失に対して責任を負いません。
- 製品保管の際、暑いところや寒いところは避けてください。外見の変形や製品内部の損傷、液晶表示の誤作動のおそれがあります。
- 電源アダプタとケーブルは必ず(株)コウォンシステムが提供する物のみを使用してください。

製品使用時の注意事項

- コンピュータとの接続の際は、必ずパソコン本体のUSBポートまたはUSB HOSTカードのUSBポートだけを使用してください。外部のUSBハブを使用した接続では正常動作を保障しません。（例：キーボードのUSBポート、モニタのUSBポート、外部のUSBハブなど）
- 内蔵のハードディスクをフォーマットする場合、ファイルシステムはFAT32にしてください。フォーマット後にはファームウェアのアップグレードの手続きに従ってファームウェアを再インストールしてください。
- 雷などの悪天候時には、落雷や火災の危険性がありますので、必ずPC本体や電源アダプタの電源コンセントを外してください。
- 磁石や直接的な磁界の近くに本製品を置かないでください。故障の原因となります。
- 側面のすべてのポートを同時に接続しないでください。製品の電源が切れたり、故障の原因となります。必ず必要な端子のみ接続してください。

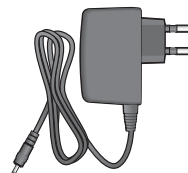
2. パッケージの構成

A3 本体

イヤホン

USB ケーブル

AV ケーブル

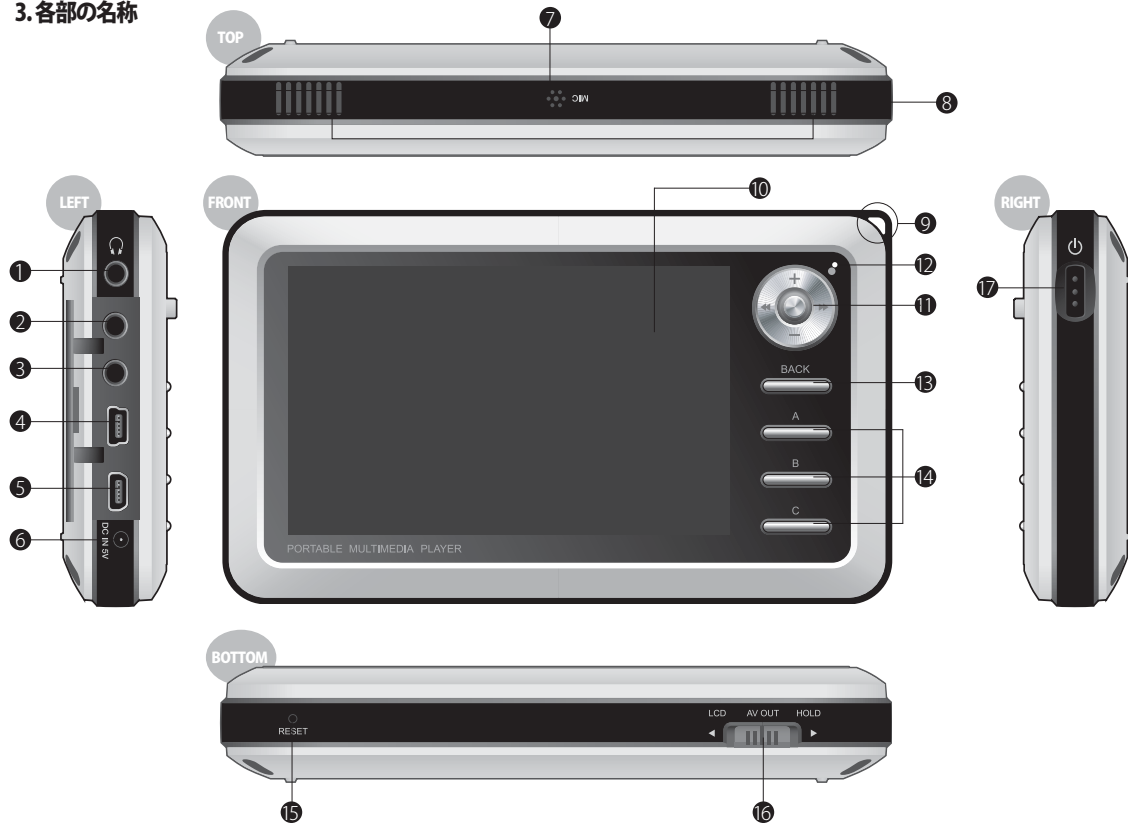
高画質TVケーブル

ACアダプタ

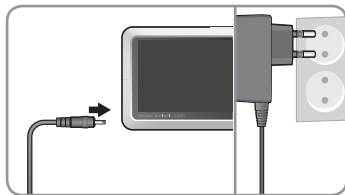
ストラップ

インストールCD
クイックガイド

USBホストケーブル

3. 各部の名称

TOP
MIC
LEFT
FRONT
RIGHT
BACK
A
B
C
PORTABLE MULTIMEDIA PLAYER
DC IN 5V
BOTTOM
RESET
LCD
AV OUT
HOLD

❶ **イヤホンジャック** ：付属のイヤホンまたは標準3.5mmジャックを使用するイヤホンを使用できます。
❷ **AVOUT端子** ： AVケーブルを使ってA3の画面を外部AV機器へ出力する時に使用します。
❸ **AVIN端子** ： AVケーブル及びLine-inケーブルを使って外部AV機器で再生している内容を録画または録音する時に使います。
❹ **COMP / S-VIDEO端子** ： 高画質TVケーブルを使ってCOMPONENT/S-VIDEOへ出力したり、S-VIDEOで録画する時に使います。
❺ **USB端子** ： USB２.０ケーブルを使ってPCと接続しファイルの転送、またはUSB　HOSTケーブルを使ってUSB互換機器の接続する時に使います。
❻ **DCアダプタジャック** ：電源アダプタを接続し、A3使用時または、充電するとき使用します。
❼ **マイク** ：内蔵のマイクで音声を録音するとき使用します。
❽ **スピーカ** ：ステレオスピーカが内蔵されていてイヤホンなしにオーディオを聞けます。
❾ **ストラップ穴** ：ストラップをかける穴です。
❿ **TFT LCD** ：情報と再生画面を表示します。
⓫ **ジョグレバー** ：上下左右の４方向/押すと、選択またはファイルを再生します。
⓬ **LED** ：機器の状態をシンプルに表示するLEDです。
⓭ **BACKボタン** ：選択をキャンセルするか、またはモードから出るとき使用します。
⓮ **A、B、Cボタン** ：画面下部のA、B、Cの機能を実行します。
⓯ **RESETホール** ：製品の誤動作時に電源を遮断します。単なる電源遮断で、製品には影響しません。
⓰ **LCD、AV OUT、HOLDスイッチ** ：画面の出力対象の選択、ボタンホールドおよびUSB充電条件の選択のとき使用します。
⓱ **電源スイッチ** ：短く押してLCD画面の電源を切るか、長く押して電源を入れたり切ったりするとき使用します。

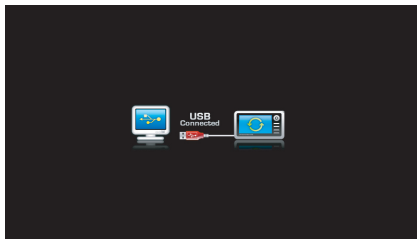
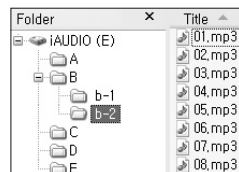
4. 電源を入れて充電

1. 電源アダプタをコンセントと機器の側面にあるDCアダプタジャックに接続します。

2. 充電時にはLEDが赤く点灯されます。

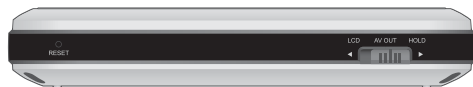
3. 充電が完了すると、LEDは消灯されます。

- 初めての使用または長期間放置した後使用する場合は、電源アダプタで十分充電してから使用してください。
- 放電期間が長い場合はアダプタを接続しても即時に充電されず、赤色のLEDも点灯しないことがあります。しかし、それは正常な充電過程であり、充電が完了するまで長時間がかかります。
- 安全な使用のため付属している電源アダプタのみ使用してください。

5.コンピュータへの接続

1. 付属のUSBケーブルで機器のUSB端子とPCのUSBポートを接続します。

2. 正しく接続されたらLCDに次の図が表示されます。

3. マイコンピュータおよびWindowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

6.コンピュータで充電

下部のスイッチをHODLにしてPCと接続するとPCでは認識せず、単純にUSBポートを通じて充電だけ行われます。

- リムーバブルディスクとして使用するときは、安定的な電源供給のため電源アダプタを接続してください。
- USBポートで充電する場合は、長時間充電が必要とし、完全充電はできないおそれがありますので、できるだけアダプターを利用し充電してください。
- USBハーブを使用すると、充電が行われないか、誤動作するおそれがあります。かならずコンピュータ本体にあるUSBポートに接続してください。

7. ファイルの保存と取り外し

1. COWON A3をPCに接続した状態でWindowsエクスプローラを開くか、JetAudioを実行します。
2. COWON A3に映像ファイルや音楽ファイルなどを保存します。
3. ファイルの保存が終わったらコンピュータのトレイに表示された アイコンをクリックします。
4. 次のようなポップアップメッセージが表示されたらクリックします。

5. 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルを取り外します。

- 本製品はハードディスクを使用する製品で、ハードウェアの安全な取り外しを必ず確認してから取り外さなければなりません。
- 次のメッセージが表示されても製品に異常があるのではありません。しばらくしてからハードウェアの安全な取り外しを実行してください。

- ハードウェアの安全な取り外しが表示されないOSの場合は、すべての転送が終わった後、製品を取り外してください。
- MAC OSでは単純なファイル転送だけ可能です。

8.ファームウェアのアップグレード

ファームウェアとはハードウェアに内蔵されているプログラムで、アップグレードによって製品機能の向上や、問題点を解決することができます。ファームウェアを通じて性能やメニューが予告なしに変更されることがあり、一部のベータ版ファームウェアでは若干の誤動作が発生することがあります。

ファームウェアのアップグレード方法

1. ホームページ(www.COWONJAPAN.com)の資料室から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。
2. 付属のUSBケーブルでA3とPCを接続します。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、A3の一番上位のフォルダ(Root)にファイルをコピーします。
4. PCからA3を取り外し、USBケーブルを抜きます。
5. ファームウェアのファイルが入っている場合、電源がオフの状態で電源ボタンを押すとファームウェアのアップグレードが始まります。
6. 正常にファームウェアのアップグレードが終了するとモード選択画面が表示され、「(設定)」の「Information(情報)」でファームウェアのバージョンを確認できます。

- Systemフォルダが削除され起動ができない場合は、ファームウェアのアップグレードを行ってください。
- A3のハードディスクをフォーマットした場合にもファームウェアのアップグレードを行ってください。
- ファームウェアとアプリケーションのバージョンが違う場合、再びファームウェアのアップグレードを行ってください。
- ファームウェアのアップグレードが完了する前に絶対電源を切らないでください。
- ファームウェアのアップグレード中に電源が落ちる場合は機器に損傷をもたらす恐れがあり、無償サービスが受けられません。
- ファームウェアのアップグレードの際、ハードウェアに保存されているデータが削除される可能性がありますので、重要なファイルはコンピュータにバックアップした後、ファームウェアのアップグレードを行ってください。バックアップしていないファイルの損失に対して(株)コウォンジャパンはは一切責任を負いません。

1.ファイルの実行

1. 本体にイヤホンを接続します。(スピーカで聞きたいときはイヤホンを接続する必要はありません)
2. 電源スイッチを長く押して電源を入れます。
3. 実行したいファイルを(ビデオ)、(オーディオ)、(フォト)、(ドキュメント)モードからレバーを操作して選択します。
4. レバーでカーソルを「+」「-」に動かし、実行したいファイルのあるフォルダでレバーを押して入ります。
5. 実行したいファイルを選択しレバーを押すと、ファイルを再生します。
6. 再生中にレバーを動かしてボリュームの調節や前のファイルまたは次のファイルへの移動、ファイルの検索を行えます。
7. 再生途中レバーを押すと一時停止し、再び押すと再生します。
8. 再生途中「BACK」ボタンを短く押すとファイルブラウザが表示され、再び押すとモード選択画面が表示されます。
9. 電源スイッチを長く押すと電源が切れます。

Ex.) Play a music file.

- Movie, Music, Photo, Document　モードは、各モードで実行可能なファイルだけを表示し、実行方法は同じです。
-"再生履歴"を選択すると、以前再生したファイルを連続して再生できます。"再生履歴"を選択した後、Bボタンを使ってモード別の最近ファイルを見ることができます。
- 「Setup – Sound – General」の「Speaker」の設定が「Auto-Off」または「On」のとき、スピーカから音が出ます。
- 字幕は、動画ファイルと同じファイル名のsmiファイルが同じファイル内にあり、Setup – Movie Player – SubtitleのSubtitle設定がONの時に表示されます
- サポートしない規格の動画ファイルは、JetAudioで変更して再生できます。
- PDF, MS OFFICE, HTML等のテキストファイルは、COWON mTransを使ってCSDファイルに変換した後、再生してください。

2. ボタンの使用方法

ボタン	説明
	•電源が切れている状態で長く押すと、電源が入ります。 •電源が入っている状態で長く押すと、電源が切れます。 •短く押すと、LCDに電源が入るか、切れます。 •製品の誤動作時に９秒以上押し続けると電源が切れます。
	•ファイルの再生中にはボリュームを上げます。 •ファイルブラウザおよび設定項目では上へ移動します。 •フォトビューアでは拡大画面の上部へ移動します。
	•ファイルの再生中にはボリュームを下げます。 •ファイルブラウザおよび設定項目では下へ移動します。 •フォトビューアでは拡大画面の下部へ移動します。
	•ファイルの再生中にはファイルの先頭または前のファイルへ移動します。 •ファイルの再生中に長く押すと、ファイルを検索できます。 •ファイルブラウザでは上位フォルダへ移動します。 •設定項目では値を調整します。 •フォトビューアでは拡大画面の左側へ移動します。 •テキストビューアでは前のページへ移動します。
	•ファイルの再生中には次のファイルへ移動します。 •ファイルの再生中に長く押すと、ファイルを検索できます。 •ファイルブラウザのフォルダで押すと、そのフォルダの中に入ります。 •ファイルブラウザのファイルで押すと、ポップアップメニューを表示します。 •設定項目では値を調整するか、分類を移動します。 •フォトビューアでは拡大画面の右側へ移動します。 •テキストビューアでは次のページへ移動します。
	•ファイルの再生中に押すと、一時停止します。 •ファイルブラウザのフォルダで押すと、そのフォルダの中に入ります。 •ファイルブラウザのファイルで押すと、ファイルを再生します。 •設定項目で押すと、設定した内容を適用します。 •フォトビューアで押すと、４倍まで拡大します。
BACK	•ファイルの再生中に押すと、ファイルブラウザが表示されます。 •ファイルブラウザで押すと、モード選択画面が表示されます。 •ポップアップメニューと設定項目で押すと、キャンセルします。 •長く押すと、映画、音楽またはラジオを停止します。
A B C	•LCD画面の下部に表示されるA、B、C動作を実行します。 MOVIE: A Popup Menu / B Change Mode / C Show Playlist MUSIC: A Popup Menu / B Change Mode / C Show Playlist RADIO: A Starting Recording / B Settings / C Add Preset BROWSER: A Popup Menu / B ... / C Enable USB Host

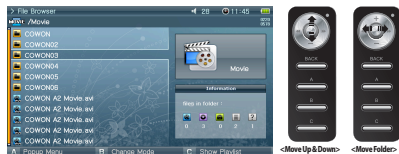
※"BACK" button operates in all modes at anytime.

1.ファイルブラウザの使用方法

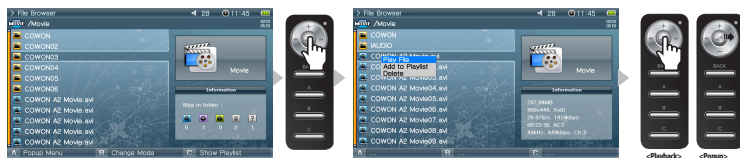
A3には10個のモードがあり、Movie, Music, Photo, Document, Browserモードはファイルブラウザからなっています。

■ File Browserを開く

Movie, Music, Photo, Document, Browserモードでレバーを押して選択すると、ファイルブラウザが表示されます。
基本的にそれぞれのモードを選択すると、そのモードで再生できるファイルのみ表示され、Browserモードではすべてのファイルが表示されます。
ファイルの再生中に「BACK」ボタンを押してもファイルブラウザが表示されます。

<Move Up & Down> <Move Folder>

■ File Browser項目の移動

項目の上下移動は「+」「−」方向へレバーを押して行います。
フォルダの中へ入りたいときは、レバーを押すか、「 ▶▶」方向へレバーを押します。
フォルダから出たいときは、「◀◀」方向へレバーを押します。一番上位のフォルダの場合はモード選択画面へ移動します。

<Playback> <Popup>

■ File Browser項目の選択

フォルダの場合、レバーを押すか「>>」方向へレバーを押すと、そのフォルダの中へ入ります。
ファイルの場合、レバーを押すと、そのファイルを再生し、「▶▶」方向へレバーを押すと、ポップアップメニューが表示されます。

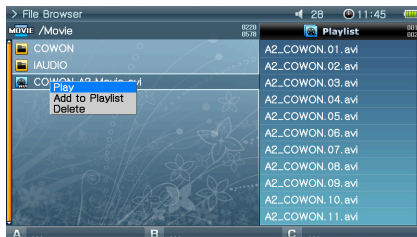
■ **File Browserのポップアップメニュ**

ファイルで「>>」方向へレバーを押すと、それぞれのモードにあたるポップアップメニューが表示されます。
「+」「−」方向へレバーを押して希望する項目を選択した後、レバーを押すか「▶▶」方向へレバーを押すと、選択されます。
「BACK」ボタンを押すと、ポップアップメニュがキャンセルされます。
Movie, Music, Documentモードでは、Play File, Add to Playlist, Deleteメニューが表示され、Photoモードの場合はSlideshow, Set Wallpaperが追加表示されます。
Browserモードの場合は「Play File」「Delete」メニューだけ表示されます。

■ **File Browserを閉じる**

「BACK」ボタンを押すと、File Browser画面を閉じ、モード選択画面へ戻ります。

2. プレイリストの使用方法

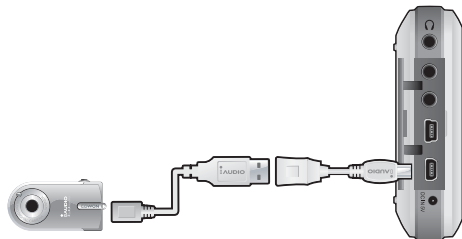
Playlist(プレイリスト)は再生したいファイルだけを集めて再生できる機能です。

■ **Playlistを開く/閉じる、リストの切り替え**

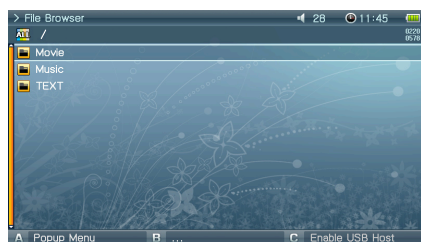
Movie, Music, Photo, Documentモードのファイルブラウザで"C"ボタンを押すと、プレイリストが表示され、再び押すとプレイリストが消えます。
"B"ボタンでプレイリストとファイルリストを切り替えられます。

■ **Playlistのファイルの追加と削除**

プレイリストにファイルを追加するには、ファイルブラウザで追加したいファイルを選択し、「>>」方向へレバーを押してポップアップメニューを表示させ、「Add to Playlist」を選択します。
プレイリストからファイルを削除するには、プレイリストで削除したいファイルを選択し、「>>」方向へレバーを押してポップアップメニューを表示させ、「Delete」を選択します。
プレイリストのファイルをすべて削除したいときは、プレイリスト上で「>>」方向へレバーを押し、「Clear Playlist」を選択します。
プレイリストのファイルを再生する場合、再生が完了したらプレイリスト上の次のファイルを再生します。
Movie, Documentモードの最大プレイリスト数は100個で、Music, Photoモードは最大300個です。

3. OTGの接続と使用方法

USB Hostは、別途販売するUSB HostケーブルでUSB互換機器（デジタルカメラ、iAUDIO等）のファイル及びフォルダをコピーする機能です。

■ USB Hostの接続

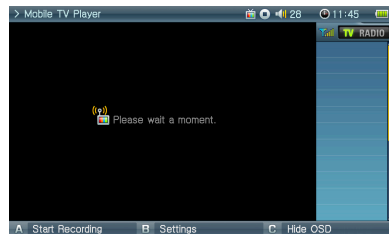
USB HostケーブルをA3のUSB HOST端子に差し込み、USB互換機器のUSBポートと接続します。

■ USB Hostのスタート

USB Hostをスタートするには、USB互換機器を接続した後、Browserモードで「C」ボタンを押します。
互換可能な機器であれば画面の右側にUSB互換機器のフォルダとファイルのリストが表示されます。
コピーしたいフォルダやファイルを選択し、「A」ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示され、動作を選択できます。
「B」ボタンを押すと、A3またはUSB互換機器のリストへ移動できます。
「C」ボタンを再び押すと、USB Hostモードが終了します。

■ USB Host互換機器

UMSをサポートするデジタルカメラやMP3プレーヤー等と接続され、正確な互換機器についてはホームページwww.COWONJAPAN.comの製品情報をご覧ください。

4. Mobile TVモードの使用方法

Mobile TVモードは、別途販売する外付け型TV受信機を接続して放送を視聴する機能です。

■ TV受信機に接続する

外付け型TV受信機を左側のUSB端子に接続します。外付け型TV受信機は、T-DMB（韓国）、1 SEG（日本）、DVB-T（ヨーロッパ）があり、A3に自動認識されます。TV受信機を接続すると上部の支持台がAV OUT端子に固定されます。

■ Mobile TVを使用する

外付け型TV受信機が接続された状態でMobile TVモードを実行します。
"B"ボタンを押した後、チャンネル検索を選択すると、自動的に該当地域の視聴可能なチャンネルリストが右側に表示されます。
チャンネルリストのチャンネルを選択すると該当チャンネルが視聴できます。

■ Mobile TVを終了する

"BACK"ボタンを長く押すと該当モードが終了されます。

- 外付け型TV受信機を接続した場合はAV OUT機能が使用できません。
- 画面が正常に映らない場合は、該当地域がMobile TV信号を受信できる地域であるかを確認してください。
- Setup – Movile TV – Region(受信地域)で正しい地域にセッティングします。

5. ラジオモードの使用方法

Radioモードは FMラジオを聴いたり録音したりするモードです。

<NON Preset Mode>

<Preset Mode>

■ Radioを聴く

Radio Listening
Radioモードを選択すると、FMラジオを聴くことができます。
レバーを「◀◀」「▶▶」方向へ短く押してチャンネルを移動するか、長く押して検索することができます。
「BACK」ボタンを長く押すと、ラジオを停止します。

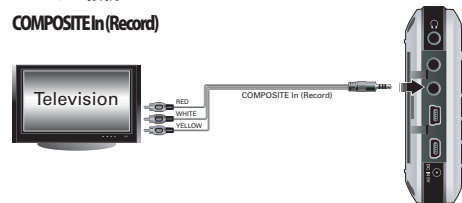
■ Preset(プリセット)の設定と使用

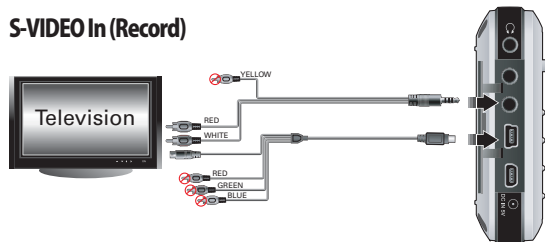
お気に入りの周波数で「A」ボタンを押すと、その周波数を保存します。
レバーを押すとプリセットモードとなり、レバーを「◀◀」「▶▶」方向へ押して保存された周波数を移動できます。
プリセットモードで「A」ボタンを押すと、保存された周波数を削除します。

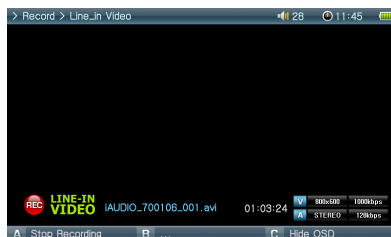
6. レコードモードの使用方法

AVケーブル、S-VIDEOケーブル、Line-inケーブル(別途販売)及び内臓マイクを使って録画/録音ができます。

■ ケーブル接続

COMPOSITE In (Record)

AUDIO In (Record)

S-VIDEO In (Record)

AVケーブルの場合、A3の“AV IN”端子と外部AV機器の“AV OUT(Video OUT, Audio OUT)”に接続します。S-VIDEO録画のためにはS-VIDEOケーブルを外部AV機器の“S-VIDEO OUT”端子に接続します。（コンポーネント入力はサポートしません。）
Line-inケーブルの場合、A3の“AV IN”端子と外部オーディオ機器のLine　Out（またはイヤホン）端子に接続します。

■ 録画／録音

Recordモードを選択すると、再び６つ（Video, Audio, MobileTV, Radio, Built-in Mic, Timer Rec）のモードが表示されます。
録画/録音を実行したいモードを選択した後、“A”ボタンを押すと録画/録音が始まります。
録画／録音されたファイルはMovie、Musicモードで再生できます。
録画／録音の時は通常時より多くバッテリを消耗するので、録音の前に十分充電してください。

■ 予約録画／録音

Timer Recモードが、予約録画/録音を設定するモードで多重予約録音ができます。
Record – Timer Recへ移動します。
“A”ボタンを押すと、予約録画/録音の設定画面が表示されます。
予約録画/録音モードを設定すると、指定された時間に自動的に電源が入り、指定された設定によって録画/録音が始まります。

7. 外部出力の使用方法

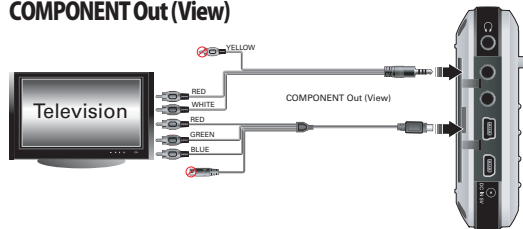
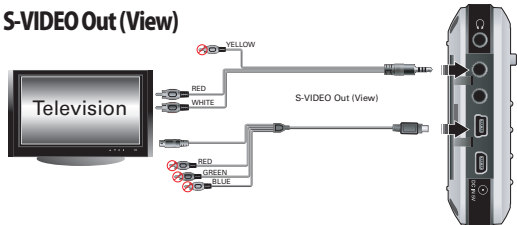
AVケーブルを使って外部AV機器（TV、VTRなど）を接続できます。

■ ケーブル接続

付属のAVケーブルを機器の“AV OUT”端子と外部AV機器の“AV IN(Video IN, Audio IN)”端子に接続します。
AV機器のモードを外部入力チャンネルに変更します。（該当AV機器のマニュアルを参考してください。）
製品下部のスイッチを“AV OUT”に切り替えると画面が外部AV機器へ出力されます。

- 正常に出力できない場合は次を確認してください。
- 製品の下部のスイッチが「AV OUT」になっているか確認してください。
- 「Setup – Display – TV Standard」を正しくセットします。（NTSCまたはPAL選択）
- Setup – Display – AV OutをCompositeにセッティングします。
  AV機器がComponent(p)方式をサポートしないモデルの場合、Component(i)に選択してください。
- 入力端子と入力チャンネルが同じか確認してください。（外部入力1に接続する場合、外部入力チャンネル1に設定しなければなりません。

8. COMPONENT, S-VIDEO OUTの使用方法

COMPONENT Out (View)

S-VIDEO Out (View)

■ ケーブル接続

付属の高画質TVケーブルを機器の“COMP / S-VIDEO”端子と外部AV機器の“COMPONENT IN”または“S-VIDEO IN”端子に接続します。
音声接続は、AVケーブルを機器の“AV OUT”端子と外部AV機器の“Audio IN”端子に音声端子のみ接続します。
AV機器のモードを外部入力チャンネルに変更します。(該当AV機器のマニュアルを参考してください。)
製品下部のスイッチを“AV OUT”に切り替えると画面が外部AV機器へ出力されます。

- 正常に出力できない場合は次を確認してください。
- 製品の下部のスイッチが「AV OUT」になっているか確認してください。
- 「Setup – Display – TV Standard」を正しくセットします。(NTSCまたはPAL選択)
- Setup – Display – AV OutをComponentまたはS-Videoにセッティングします。
- 外部AV機器にはA3の“AV OUT”設定によってComponentまたはS-Videoの一箇所の端子のみ接続してください。ComponentとS-Videoを同時に接続すると製品の誤動作のおそれがあります。
- 入力端子と入力チャンネルが同じか確認してください。(外部入力1に接続する場合、外部入力チャンネル1に設定しなければなりません。

9. 壁紙の使用方法

お気に入りのイメージで壁紙を設定できます。

■ **Wallpaperの種類**

800x480 サイズのjpg, png, bmp, tifファイルで設定が可能であり、大きいイメージはResizeされ、小さいイメージは画面の中央に配置されます

■ **Wallpaperの設定**

Photoモードで壁紙に設定するファイルを選択し、「>>」方向へレバーを押してポップアップメニューを表示させた後、「Set Wallpaper」を選択します。
壁紙の設定ができない場合は、「Setup – Display – Wallpaper」でUseにを設定します。
但し、映画や音楽の再生中にはWallpaperを設定できません。

10. 設定モードの使用方法

Setupモードでレバーを押すと再び９つのモードが表示されます。
設定を行いたいモードへ移動した後レバーを押すと、詳細設定画面が表示されます。
詳細設定画面での上下移動は「＋」「－」方向へレバーを押して行い、値の設定は「◀◀」「▶▶」方向へレバーを押して行います。
詳細設定画面はモードに応じて数項目に分類され、分類間の移動は「◀◀」「▶▶」方向へレバーを押して行います。
項目を設定した後レバーを押すと、適用してからSetupモード設定画面へ戻ります。
「BACK」ボタンを押すと、設定中の値をキャンセルした後、Setupモード設定画面へ戻ります。
Setup項目についての細かい説明は「4. 設定の機能説明」をご覧ください。

1. 設定の一覧表

ディスプレイ	一般	LCDの明度
		LCD カラー
		TV標準出力方式
		AV 出力
		AV 入力
	壁紙	壁紙
		輝度
		プレビュー
	文字表示	メニュー言語
		システム言語
		テキストスクロール速度
		メニュースタイル
サウンド	一般	スピーカ
		ボリューム
		左右バランス
		ステレオ
		ピッチ修正
	ジェットエフェクト	イコライザ
		BBE
		Mach3Bass
		MP Enhance
		3Dサラウンド
動画プレーヤ	一般	3D ステレオ
		再生速度
		リピート
	画面表示	画面比率
		TV タイプ
	字幕	字幕
		字幕カラー
音楽プレーヤ	一般	再生領域
		再生します
		リピート
		シャッフル
		再生速度
	ディスプレイ	歌詞LDB
		時間表示
		Album Image
情報		
ワンセグ	一般	チャンネルリスト
		スライドショー
	受信地域	T-DMB
		1SEG
		DVB-T
ラジオ	一般	ステレオ
		地域
レコーダ	一般	ラインインボリューム
		ボリューム
		マイク AGC
	ビデオ	ビデオ品質
		オーディオ品質
		オーディオチャンネル
	オーディオ	ラインイン品質
		ラインインチャンネル
		ラジオ品質
		ラジオチャンネル
		マイク品質
システム	一般	時刻設定
		ブートレジューム
		ブラウザレジューム
	アラーム	アラームモード
		ウェークアップ時刻
		動作時間
		アラーム動作日
	電源	スリープタイマ
		LCDオフ
		システム終了
		省電力モード

2. ディスプレイ

一般

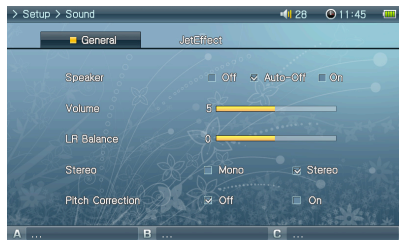
- LCDの輝度
  LCDの輝度を調整します。1～10まで調整できます。
- LCDカラー
- TV標準出力方式
  TV出力方式を設定します。NTSCとPAL規格を選択できます。
- AV出力
  AV出力方式を設定します。AV　Out画質はComponent > S-Video > Compositeです。
- AV入力
  AV入力方式を設定します。AV　In画質はS-Video > Compositeです。
  Component入力はサポートしません。

壁紙

- 壁紙
  壁紙を選択できます。
- 輝度
  壁紙の輝度を調整します。-9～9まで調整できます。
- プレビュー
  現在設定されている壁紙が表示されます。
  壁紙を設定するにはPhotoモードで壁紙に使いたいファイルのポップアップメニューを表示させ、「Set Wallpaper(壁紙設定)」を選択して行います。

文字表示

- メニュー言語
  メニューに使用する言語が選択できます。
- システム言語
  字幕、テキストファイル等のシステムに使用する言語が選択できます。
- テキストスクロール速度
  File Browserで表示されるテキストのスクロール速度を調整します。
- メニュースタイル
  メニューのスタイルを設定します。背景イメージを設定する場合は「シンプル」に選択したください。

3. サウンド

一般

- スピーカ
  内蔵スピーカの設定を行います。
  「Off」にするとスピーカから音が出ず、「Auto-Off」にするとイヤホンを差し込むと場合スピーカから音が出ません。「On」にするといつもスピーカから音が出ます。
- ボリューム
  ボリュームを調整します。0〜40まで調整できます。
  再生画面で「＋」「－」で調整できます。
- 左右バランス
  スピーカとイヤホンの左右のバランスを調整します。
- ステレオ
  「Stereo」または「Mono」に設定できます。
- ピッチ修正
  Movie, Musicモードの再生速度設定の時、音の高さの変化を調節する機能です。

ジェットエフェクト

- イコライザ
  すでに設定されているエフェクトを利用したり、ユーザ自身でで10バンドのEQが設定できます。
- BBE
  BBEは音を鮮明にする音場効果です。
- Mach3Bass
  Mach3Bassは超低域を強調してくれるベース増幅機能です。
- MP Enhance
  MP Enhanceは損なわれた音域を補正してくれる音場効果です。
- 3Dサラウンド
  3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。

4. 動画プレーヤー

一般

- 3D ステレオ
  Movie再生の時、3 Dステレオ音響効果が設定できます。
- 再生速度
  再生速度が設定できます
- リピート
  リピート再生が設定できます。
  「全て」に設定する場合、最後のファイルが再生された後、最初のファイルが再生され、「1曲」に設定する場合は再生する1つのファイルがリピート再生されます。

画面表示

• 画面比率
動画ファイルの画面比率を選択します。
「Auto」にすると元データの比率を使用し、16:9および4:3の場合は元データの比率を無視し、指定した比率で表示します。
4:3の比率はAV OUTのとき使用してください。
• TV タイプ
AV　OUTを使用するTVのタイプを選択します。

字幕

• 字幕
字幕(.smi, .srt, .sub(テキスト形式))ファイルがある場合、字幕を出力します。
出力しようとする字幕ファイルは動画ファイルとファイル名が同じで、同じフォルダ内に位置しなければなりません。

• 字幕カラー
字幕のカラーが設定できます。

5. 音楽プレーヤー

一般

• 再生領域
ファイルやフォルダなどに対して再生領域を設定できます。
「ALL」の場合全曲を再生し、「Folder」の場合は選択したフォルダ内のファイルのみ
• 再生します。
「Sub-folder」の場合選択したフォルダのファイルおよびサブフォルダまで再生し、
「Playlist」の場合Playlistに設定されたファイルのみ再生します。
Playlistの曲を再生する場合自動的にBoundaryはPlaylistに変更され、再び一般フォルダの曲を再生すると自動的に前のBoundaryへ戻ります。
• リピート
Boundaryで指定した範囲内でリピートするかを設定できます。
「On」にすると範囲内のすべての曲の再生が完了した時点でリピート再生され、
「Current」にすると一曲だけを再生します。
• シャッフル
Boundaryで指定した範囲内でランダムに再生するかを設定できます。
「On」にすると、範囲内で次の曲がランダムに選択され再生されます。
• 再生速度
再生速度の設定ができます。

ディスプレイ

- 歌詞LDB
 タグ情報に歌詞データが入力されている音楽ファイルの歌詞表示を設定できます。
 Onに設定する場合、該当曲の歌詞がLCDに表示されます。
 「On」に設定しても歌詞が入力されていないと歌詞は表示されません。
 歌詞の入力についてはホームページ(www.COWONJAPAN.com)の初心者ガイドをご覧ください。
 設定した場合でも再生中のファイルに歌詞データが入っていなければ表示されません。
- 時間表示
 再生される音楽ファイルの時間の表示について設定できます。
 「Elapsed」にすると経過した再生時間を、「Remain」にすると残っている再生時間を表示します。
- アルバムイメージ
 ホールダー内のIDの札かイメージファイルで(同じ名前の下で救われる)挿入されたイメージは表示される。
 JPEGだけサポートをファイルし、イメージファイルではない場合のCDイメージは現われる。

6. 情報

一般

- Firmware Version
 現在のファームウェアのバージョンです。
- Application Version
 現在のソフトウェアのバージョンです。
- HDD Free Size
 ハードディスクの空き容量です。
- HDD Total Size
 ハードディスクの全体容量です。

7. ワンセグ

一般

- チャンネルリスト
 チャンネルリストを表示したり、自動隠しに設定できます。
 自動隠しに設定すると動画が全体画面に映ります。
- スライドショー
 DMB Radio (DAB) 放送の時、放送局から送出するイメージのスライドショーの設定ができます。
 スライドショー再生中には"LCD OFF"機能が作動します。
 道路イメージや、スター写真、気象情報イメージ、CCTVの道路状況写真などが表示されるが、放送別、放送時間別に異なる場合があります。
 ※ 韓国のみ対応のメニューとなります。

受信地域

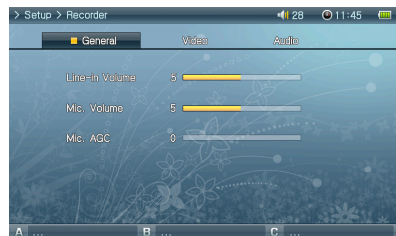
- T-DMB
  地上派DMB地域を設定します。外蔵型T－DMB　TV受信機が必要です。
- 1SEG
  1 SEG地域を設定します。外蔵型 1 SEG　TV受信機が必要です。
- DVB-T
  DVB地域を設定します。外蔵型DVB－T　受信機が必要です。

8. ラジオ

一般

- ステレオ
  FM Radioをステレオで聴くかモノラムで聴くか選択できます。
  但し、モノラムだけをサポートする放送の場合は、「Stereo」を選択してもモノラムで放送されます。
  「Stereo」に設定したとき、雑音が聞こえる場合があります。その場合は「Mono」にして使用してくださ。
- 地域
  FM Radioを受信する国を選択できます。

9. レコーダ

一般

- ラインインボリューム
  AV IN端子へ入ってくるボリュームを調節します。
- ボリューム
  内蔵マイクへ入ってくるボリュームを調節します。
  数値が大きくなるほど音が増幅します。
- マイクAGC
  自動的に録音される音の高さを一定に調節します。
  大きい数値に行くほどより敏感に反応します。

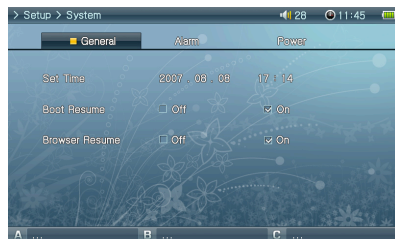
ビデオ

- ビデオ品質
  Video録画のときAV IN端子で録画されるビデオファイルの品質を設定します。
  解像度とbpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。
- オーディオ品質
  Video録画のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルの品質を設定します。
  bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。
- オーディオチャンネル
  AV IN端子で録音されるオーディオファイルのチャンネルを設定します。

オーディオ

- ラインイン品質
  Audio録音のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルの品質を設定します。
  FLAC(無損失)に設定する場合、無損失・高音質のFLAC形式での録音が可能となります。
- ラインインチャンネル
  Audio録音のときAV IN端子で録音されるオーディオファイルのチャンネルを設定します。
- ラジオ品質
  Radio録音のとき録音されるファイルの品質を設定します。
  bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。
- ラジオチャンネル
  Radio録音のとき録音されるファイルのチャンネルを設定します。
- マイク品質
  内蔵マイクで録音されるファイルの品質を設定します。
  bpsが高いほど品質はよくなりますが、ファイルの容量が大きくなり、より多くの電力を消費します。

10. システム

一般

• 時刻設定
現在の時刻を設定する機能です。
• ブートレジューム
「On」に設定すると、前回再生していたファイルの続きから再生します。
• ブラウザレジューム
Browserの位置を記憶し、次回の実行時に選択した位置へカーソルが移動します。

アラーム

• アラームモード
アラームモードを選択します。
Movie Player, Music Player, Mobile TV or FM Radioの場合、指定された時間になると自動的に電源が入り、最後に再生したファイルまたは周波数を再生します。
• ウェークアップ時刻
アラーム時刻を設定します。
• 動作時間
アラーム動作が持続する時間を設定します。指定した時間が経過すると、自動的にアラーム動作が停止します。
• アラーム動作日
アラームの動作日を設定します。
「Once」にするとアラームは一回のみ動作します。「Daily」にすると毎日、「Weekdays」にすると月曜日から金曜日までアラームが動作します。

電源

• スリープタイマ
消費電力を減らすため、事前に設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れる機能です。
設定した時間が経過すると、使用中でも電源が切れます。
• LCDオフ
消費電力を減らすため、事前に設定した時間が経過すると、LCDの電源が切れます。
電源スイッチを押すとLCDに電源が入ります。動画ファイルの再生の時は動作しません。
• システム終了
機器が停止している状態で設定した時間の間操作がない場合、自動的に電源が切れる機能です。
ファイルの再生の時は動作しません。
• 省電力モード
内蔵されたハードディスクの省電力モードが設定できます。
OFFにすると全体的な反応速度は速くなるが、再生時間は減ります。

1. 製品仕様

Hardware

ビデオ	LCD	800x480ピクセル、4インチワイドTFT LCD、1,670万カラー
	ビデオフィーマット	NTSC / PAL
オーディオ	チャンネル	ステレオ
	周波数範囲	20Hz ~ 20KHz
	ヘッドフォン出力	ステレオ、左 32mW + 右 32mW (16Ω イヤホン)
	信号対雑音比	95dB
	内蔵スピーカ	ステレオ, 左 1000mW + 右 1000mW (8Ω)
	内蔵マイク	モノラル
FMラジオ	周波数範囲	76~108 MHz (国別周波数調整、25局のプリセットサポート)
	アンテナ	イヤホンコードアンテナ
電源供給	バッテリー	内蔵リチウムポリマー充電池
	バッテリー充電	ACアダプター接続後約 5 . 5 時間
	ACアダプター	DC 5.0V, 3A
記憶装置	ハードディスク	1.8インチ 30 / 60 GB, FAT32 ファイルシステム
USB Interface	USB Device / Host	USB 2.0 High Speed
その他	製品のサイズ	133.4(W) x 78.5(H) x 22.0(T) mm
	製品の重量	280g (30GB 基準)
	動作温度範囲	0℃ ~ 40℃
コンピュータ使用環境	CPU : Pentium III 200Mhz or higher OS : Windows Vista/ XP / 2000 / ME RAM : 128MB or more CD-ROM Drive USB Port DirectX 9 or higher QuickTime 6 or higher * MAC OS 10.X (PCからのデータ転送のみ可能)	

Applications

- Specifications may change for performance improvements

動画プレーヤ	ファイルフォーマット	AVI, WMV, ASF, MP4, MATROSKA(MKV), MPG/MPEG, VOB, DAT, MTV
	ビデオコーデック	DivX 3.11/4/5/6, XviD, MPEG-4 SP/ASP, WMV 9/8/7, H.264 MP, M-JPEG, MPEG 1
	ビデオ解像度	最大 1280x720, 30 fps 注1
	オーディオコーデック	MPEG1 Layer 1/2/3, WMA, FLAC, OGG Vorbis, AAC/AAC+, AC3, BSAC, True Audio, WavPack, G.726, PCM
	オーディオ解像度	最大 96KHz, 1.4Mbps
	倍速再生	0.5X ~ 2X 注2
	スキャン速度	70% ~ 150%
	字幕	SMI, SRT, SUB(テキスト形式), DivX ビットマップ 注3
	音場	３Dステレオ
	連続再生時間	最大7時間連続再生 注4
音楽プレーヤ	ファイルフォーマット	MP3/2/1, WMA, ASF, FLAC, OGG, M4A, MATROSKA(MKA), TTA, APE, MPC, WV, WAV
	オーディオコーデック	MPEG1 Layer 1/2/3, WMA, FLAC, OGG Vorbis, OGG FLAC, APPLE Lossless, AAC/AAC+, AC3, True Audio, Monkey Audio, MusePack, WavPack, G.726, PCM
	オーディオ解像度	最大 96KHz, 1.4Mbps 注5
	倍速再生	0.5X ~ 2X 注2
	META TAG	ID3 V1, ID3 V2.2/V2.3/V2.4, Vorbis Comment, APE Tag V2, MP4 Tag, MATROSKA Tag, WMA Tag

注1 120fpsビデオも再生可能（ダウンサンプリング）
ビデオコーデック別の最大解像度の差がある。
同一コーデックでもインコーディングオプションによって最大解像度の差があります。
注2 再生速度を上げると、一部の映画や音楽の再生が円滑でない場合があります。
注3 COLOR　TAG支援で字幕カラー表現が可能
注4 ビデオ：WMV9, QVGA, 30fps, LCD 5, ボリューム 20, イヤホン出力
注5 OGG Vorbis, FLAC, MusePack, WavPack : 最高レベルまで再生
APE : C2000 (Normal) レベルまで再生

Applications

- Specifications may change for performance improvements

音楽プレーヤ	EQ	10バンド、8セット (Normal, Rock, Jazz, Classic, Pop, Metal, Vocal, User)
	音場	Jeteffect (BBE, Mach3Bass, MP3 Enhance, 3D Surround)
	視覚効果	サウンドスペクトラム
	歌詞	LDB
	再生時間	最大9時間連続再生 注6
Photo Viewer	ファイルフォーマット	JPG, GIF, PNG, TIF, BMP, RAW
	解像度	JPG – 最大 1500万ピクセル その他 – 最大 500万ピクセル RAW - Unlimited
Document Viewer	CSDビューア	CSD ビューア (PDF, DOC, PPT, XLS, HWP, GUL, HTML等のフォーマットに制限なくプリント可能な全てのテキストをCSDに変換)
	テキストビューア	TXT (EUC-KR(韓国語), EUC-JP(日本語), GB2312(中国簡体), Big5(中国繁体), ISO-8859-1(ラテン), ISO-8859-5(ロシア語), ISO8859-8(ヘブライ語), ISO-8859-6(アラビア語), ISO8859-2(中央ヨーロッパ), ISO8859-7(ギリシア語), ISO-8859-9(トルコ語), ISO-8859-4(バルト語), UTF-8(BOM　HeaderがあるUNIコードテキスト自動認識)
Mobile TV	放送規格	T-DMB / DVB-T / 1SEG 注7

注6 オーディオ：MP3 / 44KHz / 128kbps, LCD Off, ボリューム 20,　イヤホン出力

注7 別途のMobile TV受信機をUSB端子に接続して使用（オプション）

Record

- Specifications may change for performance improvements

ビデオレコーディング	ファイルフォーマット	ASF
	解像度	最大 720x480, 3Mbps
オーディオレコーディング（Line-in）	ファイルフォーマット	FLAC, WMA 注1
	オーディオ解像度	最大 48KHz, FLAC 無損失 / WMA 192Kbps
マイク、ラジオレコーディング	ファイルフォーマット	WMA
	オーディオ解像度	最大 48KHz, 192Kbps

注1 FLAC (Lossless Audio CODEC)サポートによって無損失圧縮オーディオレコーディングが可能

2. インストールCDプログラム案内

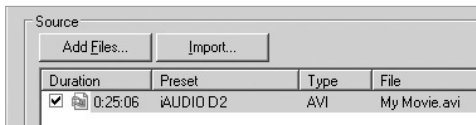
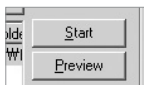
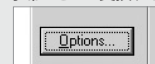
インストールCDには世界的に有名な統合マルチメディアプログラムJetAudioが収録されています。また、A3ソフトウェア、サンプルマルチメディアファイルが含まれています。

3. COWON MediaCenter - JetAudioによるファイル変換

1. COWON MediaCenter - JetAudioをインストールし、実行します。

2. .動画ファイルの変換のために上部の「Convert Video」をクリックします。

3. ビデオ変換ウィンドウが表示されたら「Add Files」を選択し、変換したい動画ファイルを読み込みます。

4. 読み込んだ動画ファイルを確認します。

5. 保存先とプリセットを確認した後、右上の「Start」ボタンをクリックし、変換を始めます

- 正常に再生できない動画ファイルをJetAudioの変換過程を通して変換後、再生できます。
- PCで正常に再生できる動画ファイルのみ変換できます。PCで再生できない場合、インターネット検索を通して必要なコーデックをPCにインストールしてください。
- 全てのファイルが変換できることではありません。また、変換できたとしても損傷されたファイルはA3で再生できない場合があります。
- PCの性能及び原本ファイルのサイズ、コーデックの種類によって変換時間に差があります。
- 「Preview」をクリックすると、保存せず変換画面を確認できます。
- 字幕をともに変換するか、設定を変更したい場合は「Source Option」をクリックします。

- smiファイルは字幕ファイルで、必ず動画ファイルとファイル名が一致しなければなりません。

Symptom	Explanation
電源が入らないか、動作しません。	•諳 内蔵バッテリが放電されている場合、アダプタで十分充電してから使用してください。 • 諳 一定時間充電した後も電源が入らない場合は、製品の下部の「RESET」ボタンを押した後、再び電源を入れてください。 • 諳 Systemフォルダが削除されている場合、ファームウェアのアップグレードを行った後使用してください。 • 諳 製品の下部のスイッチが「HOLD」の位置か確認します。「HOLD」の位置ですと、電源ボタンが機能しません。
電源を入れても画面が表示されません。	製品の下部のスイッチが「AV OUT」の位置か確認します。「AV OUT」の位置にある場合は、「LCD」の位置に変更してください。
ファイル再生中に機器がよくダウンします。	A3内部にはハードディスクが入っており、ディスクにエラーがある場合は動作が不安定になる場合があります。 この場合、ディスク検査(chkdsk)をしてから使用してください。 ディスク検査はA3をPCに接続して状態で実行－cmd実行後、chkdsk e: /f　(e:はPCで認識するA3ドライブ)
録画中に機器がよくダウンします	A3内部にはハードディスクが入っており、ディスクにエラーがある場合は動作が不安定になる場合があります。 この場合、ディスク検査(chkdsk)をしてから使用してください。 ディスク検査はA3をPCに接続して状態で実行－cmd実行後、chkdsk e: /f　(e:はPCで認識するA3ドライブ)
フォーマットして電源を付けるとX表示が出て作動しません。	フォーマットは必ずFAT32ファイル方式でしなければなりません。ホームページで最新のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてから使用してください。
systemフォルダが削除されて作動しません	systemフォルダが削除された場合は、ホームページで最新のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてから使用してください。
ボタンが作動しません。	製品下部のスイッチが"HOLD"の位置にあるかを確認します。"HOLD"の場合はボタンが作動しません。
スピーカから音が出ません。	• 諳 「Setup – Sound – Speaker」で「Auto-Off」または「On」に設定されているか確認します。「Off」に設定されていると、スピーカから音が出ません。 • 諳 ボリュームが「0」になっていないか確認し、ボリュームを適切に調節します。
映画や音楽の再生のときボタン操作に対する反応が遅いです。	諳 バッテリの消耗を減らすため低電力モードで動作しているためです。3～4秒が経過すると一般モードで正常動作します。
FMラジオが聴けません。	• 建物の内部または地下鉄、移動中の自動車の中など使用者の位置によってFM受信感度が低下し放送受信状態が不安定な場合があります。また電波の影となる地域では聞けない場合があります。 • イヤホンが接続されているかを確認します。本製品は別途のアンテナがなく、イヤホンをアンテナとして使用します。
録音したものから雑音がします。	本製品は小型のハードディスクを使用しているモデルですので、録音時に雑音が含まれることがあり、デジタル機器の特性上録音された音がよくないことがあります。

Symptom	Explanation
動画ファイルが再生できません。	動画ファイルをPCで再生してみてください。PCで正常に再生できるファイルナラJetAudioで変換して使用してください。
保存したファイルが見つかりません。	格モードでは該当モードで再生できるファイルのみ表示されます。保存された全てのファイルを確認したい時はブラウザモードを選択してください。
PCが製品を認識しません。	• 本製品はWindows98をサポートしません。Windows 2000及びXP,Vistaで使用してください。 • PCの前面のUSBポート及びUSBハブではなく、PC本体裏側のUSBポートに製品を接続してください。
ハードディスクの容量が実際より少なく表示されます。(例:30GBなのに約27GBと表示)	30GB製品の場合、約27GB位と表示されると正常製品です。これは、ハードディスクメーカーとPCが認識する容量の違いによるもので、これ以外にも製品の正常な起動に必要なシステム領域を除くと実際表示される容量は多少減る可能性があります。
ルート(Root)フォルダに数百個のファイルを保存したら製品が誤作動します。	本製品のハードディスクではFAT32が使用されています。FAT32には制限があるため、ルート(Root)ディレクトリの中にファイルをたくさん入れることは控えてください。

Notice of GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

This product has some free software which are copyrighted by the Free Software Foundation and the library includes the software is subject to the observance of the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation.

- GNU General Public License version 2 (http://www.gnu.org/licenses/gpl.html)
- Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St - Suite 330, Boston, MA 02110, USA (www.fsf.org)
- Free Software Foundation Europe (www.fdfeurope.org)
- Free Software Foundation of India (www.fsf.org.in/)